

フィリピン共和国ミンダナオ島で汚水処理に取り組む 行政官が来日、横浜の経験に学ぶ！

2018年6月25日(月)から30日(土)の日程で、フィリピン共和国ミンダナオ島のカガヤン・デ・オロ市から3名の行政官が来日し、横浜市の汚水処理に関する取組や市内企業の先進的な汚水処理技術について学びます。

独立行政法人国際協力機構(JICA)はフィリピンのミンダナオ島において、平和の確保と定着及び貧困からの脱却を実現するため、ガバナンス強化、貧困削減、インフラ整備や産業振興などの支援を行っております。環境インフラの未整備も課題であり、フィリピンの他地域と同様、ミンダナオ島は公共下水道の普及率が低く、商業施設からの排水や工業排水は配水用開水路を通じて公共用水域に排出されています。都市部においては特に問題が深刻であり、北ミンダナオ地方の中心都市で人口55万を超えるカガヤン・デ・オロ市(以下「カガヤン市」)は、住宅に近接した河川や湖沼で悪臭やアオコ等が発生し、住民から苦情が寄せられており、伝染病などの衛生問題も危惧されています。

この問題の解決に取り組むため、日之出産業株式会社(神奈川県横浜市、大林世一代表取締役)は、JICAから中小企業海外展開支援事業の委託を受け、「分散菌処理システムを用いた汚水処理改善技術導入案件化調査」を実施しています。本調査では自社開発の微細気泡発生装置(ヒノデマイクロバブラー)と環境浄化微生物製剤を活用した、高性能かつ維持管理が容易な汚水処理システム(分散菌処理システム)のカガヤン市での導入を目指し、カガヤン市の汚水処理状況や分散菌処理システムの現地適合性について検討を行っています。分散菌処理システムが導入されることにより、カガヤン市周辺の水環境の改善が期待されます。

今回、案件化調査の一環として、カガヤン市で汚水処理に取り組む3名の行政官が来日し、横浜市の工場排水処理施設・下水処理施設を視察し、下水処理に関する横浜市の施策、日之出産業(株)の汚水処理に関する先進的な技術や民間企業における分散菌処理システムの導入事例についても学びます。帰国後、滞在中に得られた知見がカガヤン市の水環境の改善に繋がることが期待されます。



ヒノデマイクロバブラーと微生物製剤



十分な処理をされずに河川に放出されている汚水

(注) 案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うもの。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行う。2012 年度から実施されており、2017 年度第 1 回分は昨年 3 月に公示を行い、日之出産業(株)の調査も含め 36 件が採択されました。

参考: (プレスリリース) JICA 中小企業海外展開支援事業の採択案件決定「神奈川県で 4 件採択」

<https://www.jica.go.jp/yokohama/press/ku57pq0000iox5n-att/ku57pq0000ioxax.pdf>

【本件に関する問い合わせ先】

(取材のお申込み)

日之出産業株式会社 藤田 香 (ふじた かおり) 氏

電話 : 045-507-3031

Website : <http://www.hinodesangyo.com/>

(JICA 中小企業海外展開支援事業に関する問い合わせ)

JICA 横浜国際センター 総務課 池上、増田、平野、山田

電話 : 045-663-3252

Website: https://www.jica.go.jp/sme_support/index.html

* 取材をご希望の方は前日までに必ずご連絡お願いいたします。

【スケジュール概要】

日付	活動内容	訪問先
6/26 (火)	JICA 横浜表敬 日之出産業(株)の製品・技術に関する講義	JICA 横浜 日之出産業(株)
6/27 (水)	自治体における下水処理に関する講義 (施策、歴史、実施体制、産官学連携等) 自治体の工場排水処理施設の視察	横浜市環境創造局 横浜市福浦工場排水処理場
6/28 (木)	自治体の下水処理施設の視察	横浜市北部下水道センター 横浜市北部第二水再生センター 横浜市北部汚泥資源化センター
6/29 (金)	民間企業における分散菌処理システム導入事例の視察	アーリーフーズ株式会社 (埼玉県八潮市)